

様式 3

平成 29 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立智頭農林高等学校
 学校長 大塩 朋

評 価 日	平成 30 年 2 月 19 日 (月)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p>1 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びなおしに力を入れてほしい。タブレットの活用が 50%ということだが、書くことは苦手でもタブレット等が得意な生徒もいると思うので、ICT活用を推進してほしい。授業に向かう生徒の意識を高めて、基礎学力を身につけさせてほしい。 ・ 生徒が資格取得へチャレンジしている状況はどうか。 ・ 進学者はいるのか。 ・ 学年によって保護者アンケートの%が違う。質問もわかりにくいところが結構あった。わかりにくさがアンケート結果にも反映されているようだ。 <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 <p>2 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場体験はどの程度しているのか。 ・ 智頭農林高校でないとできないことをどんどん実施してほしい。新聞に取組が掲載されると嬉しい。新しい食品加工ブランドはあるのか。 <p>3 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 智頭農林高校の存続は大丈夫か。学校の特色・強みを出して卒業生に自信を持ってもらえるようになってほしい。 ・ 町の福祉課では子どもの学習支援やこども食堂を実施しており、高校生の方に期待している。現在、智頭農林高校の生徒 2 名に参加してもらっているが、小学生との関りが良好である。このような体験が社会に出ても役に立つと思うので、これからも積極的に町のボランティアやイベント等に参加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットはフリーズしやすいなど課題点もあるが、今後も取り組ませていく。 ・ 78.6%の生徒が挑戦している。 ・ 地元短大が 2 名など専門学校が多い。 ・ 来年度のアンケートに生かしていきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 年生で 5 日間、地元企業中心に実施。 ・ ルバーブジャム、藍入りクッキーなど。来年度 P T A 中四国大会で販売を考えている。 	

